

## 市長記者会見記録

日時：2025年3月3日（月）14時00分～14時33分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：第41回全国都市緑化かわさきフェア春開催がスタートします【建設緑政局】

令和7年3月22日「市役所広場」をオープンします！【総務企画局】

### <内容>

#### 【議題】

《第41回全国都市緑化かわさきフェア春開催がスタートします》

《令和7年3月22日「市役所広場」をオープンします！》

【司会】 ただいまから市長記者会見を始めます。本日1つ目の議題は、「第41回全国都市緑化かわさきフェア春開催がスタートします」となっております。

それでは、まず、福田市長から本議題について御説明いたします。市長、よろしくお願います。

【市長】 それでは、「第41回全国都市緑化かわさきフェア春開催がスタートします」について御説明をいたします。

かわさきフェアについて、2月14日から市役所本庁舎や区役所、市内のデジタルサイネージ等で放映しております30秒間のPR動画がございますので、ぜひこちらをモニターで御覧いただければと思います。

（PR動画）

【市長】 全国都市緑化かわさきフェアの春開催がよいよ3月22日から開幕をいたします。昨年の10月19日から30日間で開催いたしました秋開催では、多くの方々に御来場いただき、緑の魅力を身近に感じ、緑の関心を深めていただけたものと考えております。

今回の春開催では、「花満開！春に、逢いに行こう。」をキャッチフレーズにし、会場に咲き誇る春のお花や、桜を見に来ていただくとともに、春を楽しむイベントを企画しております。

開催当日には、富士見公園会場のステージにおいて、オープニングイベントを実施しまして、市内で活躍する団体、学校によるパフォーマンス等で開催を盛り上げる演出等を行ってまいります。

また、最終日の4月13日には、カルッツかわさきにおいて、かわさきフェアの閉幕に当たり、次期開催都市である岐阜県への引継ぎや、会場運営等に携わっていただいた方々、日頃から地域の緑化活動に貢献していただいている企業・団体、次世代を担う子供たちを御招待し、総合閉会式を開催いたします。

なお、閉会式終了後の16時30分頃から、富士見公園会場特設ステージにおいて、かわさきフェア閉幕を飾るクロージングイベントも併せて実施いたします。

次に、会場の見どころについてでございますが、春らしく魅力的な展示やイベント等を準

備しております、会場マップにおすすめのコンテンツ等を分かりやすく掲載しておりますので、併せて御覧いただければと思います。

まず、富士見公園会場です。来場される皆様を最初にお出迎えするメインガーデンでは、川崎の多様な文化・産業が溶け込み、緑豊かな環境先進都市へ歩いていく様子を、広場全体に広がった黄色・オレンジ・白色、白ですね、ベースとした、秋開催の倍となる約6万株の花とともに表現していきます。

また、期間中は、メインガーデンでの夜間ライトアップを行うとともに、毎週末ナイトガーデンマーケットを実施いたしまして、ライトアップされた桜と食と音楽を楽しむことができます。

次に、等々力緑地会場です。正面広場では、地元・若手クリエイターと連携したパレットゲートを明るくポップな印象にリニューアルするほか、体験・体感型の全長75mのガーデンでは、60を超える団体と連携した視覚、聴覚といった五感の仕掛けで緑を体験・体感できるガーデンでお迎えいたします。

また、催物広場では、週末ごとに様々なイベントを実施するほか、圧倒的な数の木製積み木などによるあそび場や、春休み期間中に出張動物園を開催するなど、平日も楽しめる会場といたします。

最後に、生田緑地会場です。緑地・自然の魅力を生かし、緑地内で発生した竹材のアーチや灯籠によるエントランスゲート、藍染や霧を使ったインスタレーションによるメタセコイヤ林の特別演出など、生田緑地の豊かな緑とアートがつながっていく風景をバージョンアップして展開いたします。

また、活動団体の方々と連携して、身近な森の恵みで遊び、仕組みを学ぶ生田緑地ならではの体験型ワークショップや活動体験等も行います。

最後になりますが、春フェアでは、“かわさきのみどり”に対する市民一人一人の意識の変化を生み出すきっかけとなるターニングポイントと考えておりますので、ぜひ、23日間にわたるこの春開催に、ぜひ多くの方に御来場いただけますようお願いいたします。

私から以上です。

**【司会】** 続きまして、2つ目の議題は、「令和7年3月22日「市役所広場」をオープンします!」となっております。こちらの議題につきましては、1つ目の議題と関連していることから、引き続き御説明させていただきます。それでは、福田市長から、2つ目の議題について御説明いたします。市長、よろしく願いいたします。

**【市長】** 続いて、「令和7年3月22日「市役所広場」をオープンします!」について御説明をいたします。お手元の資料を御覧ください。

第2庁舎を解体した跡地で整備を進めてきました「市役所広場」が完成をいたしました。川崎駅と富士見公園とを結ぶ中継地点であるこの場所を「うるおいの核」として位置づけ、憩いの場ともなる広場として整備をいたしました。災害時の多目的防災スペースにもなる市役所広場は、川崎の多様な魅力を表現した広場です。かわさきフェアの春開催のスタート

に合わせて実施する完成式典や植樹セレモニーの参加者募集について説明をいたします。

初めに、1の記載のとおり、令和7年3月22日土曜日、11時40分頃、供用を開始いたします。

次に、2、市役所広場完成イベントについてですが、広場の完成式典につきましては11時から開催予定で、テープカットやシンボルツリーと7区の木々の植樹セレモニーを実施いたします。そのほかアトリウムでは10時からキッチンカーやマルシェの出店、消防音楽隊の演奏など、様々なイベントを予定しております。

次に、3の記載のとおり、完成式典で実施する植樹セレモニーの参加者を募集いたします。「未来へのバトンタッチ」の意味も込め、市内在住の小・中学生の方に参加していただきたいと思っております。

次に、4のかわさきフェアとの連携につきまして、かわさきフェア春開催期間中、会場の一部として、広場及び本庁舎敷地内を活用したパークレットを展開いたします。

次に、市役所広場についての御説明ですので、2枚目を御覧いただきたいと思っております。

資料左上、広場の特徴でございますが、川崎の東部から西部に沿って緑が濃くなっていく地勢をイメージし、市街地を「舗装のエリア」、多摩川の原っぱを「芝生のエリア」、西側の多摩丘陵を「植栽のエリア」で表現しております。

また、川崎の情報を舗装の石に刻み込んだ「歴史のタグ」、「場所のタグ」、旧本庁舎や第2庁舎にゆかりのある材料を再利用した舗装とその説明を記した「舗装のタグ」、「7区の木」それぞれの樹木の情報を記した「樹木のタグ」を設置し、川崎を知っていただく様々な仕掛けを設けております。都市の中で緑のうらおいを感じ、憩える広場としてぜひ多くの皆さんに御利用いただきたいと思っております。

市役所広場完成イベントは気軽に立ち寄っていただけますので、同日より開催される、春のかわさきフェアとともに、皆さんのお越しをお待ちしております。

私からの説明は以上でございます。

【司会】 それでは、ただいま御説明した議題、「市役所広場をオープンします！」と、さきに御説明した議題、「第41回全国都市緑化かわさきフェア春開催がスタートします」に関する質疑を併せて行わせていただきます。

なお、市政一般に関する質疑につきましては、議題の質疑が終了後、改めてお受けいたします。

それでは、進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いたします。

【NHK（幹事社）】 幹事社のNHKです。では、まず幹事社から初めに質問させていただければと思います。それぞれ緑化フェアと市役所広場、1つずつ質問させてください。

まず、緑化フェアに関してです。秋の開催のときも、非常に盛況だったということをお話しになっていらっしゃると思いますが、春は桜のシーズン、花のシーズンということもあって、より期待できるということをお話しになっていたかと思っております。

今回、春の開催に当たって、この緑化フェアを体現しているところ、つまり、訪れた方が

こんなことを感じて、こんなところでこういうふうに思っしてほしい、みたいなどころがあれば教えてください。

【市長】 まず、おっしゃっていただいたように、春は6万株、富士見公園ですけれども、とにかく花満載ということになりますので、春らしい明るい緑化フェアになるのではないかなということと、やはり、この緑化フェアのレガシーというものをどうつないでいくかということですので、市民の皆さんにこういう体験をしていただいて、それを地域だとか、御自宅だとか、地域だというところに持って行っていただけるような、そういう体験をしていただくような取組というのを、3会場随所で企画しておりますので、そういったものにつなげていきたいなと思っております。

【NHK（幹事社）】 ありがとうございます。もう一つ、市役所広場についてです。頂いた資料の中にも書いてありますけれども、市のイベントであるとか、そうしたものにも活用していきたいと書いてありますが、どのくらいの頻度でこんなことをしていきたいというアイデアだとか、構想だとか、そういったことがあれば教えてください。

【市長】 本当にうまく使っていただければありがたいなと思っているので、まだまだこれからなので、なるべく多くの人たちに使ってもらえるような、そういう枠組みというものこれからしっかりと準備していく必要があるかなとは思っております。

【NHK（幹事社）】 ありがとうございます。

【読売（幹事社）】 読売新聞です。幹事社として1問だけ、こちらの市役所広場について質問させていただきたいと思います。

改めまして、「うるおいの核」という名づけられたその名づけの意味と、こういった場所になってほしいという市長としての思いを教えていただければと思います。

【市長】 先ほどの説明の中でさせていただきましたけれども、川崎駅から市役所に来て、市役所って何か非常に無機質というか、仕事のために来るところだけではなく、市役所の前の広場というのが市民の憩いの場となるような、そういった空間の使いわれ方をしてくれば良いなと思っておりますし、富士見公園につながるちょうど中間地点にありますものですから、そのステップストーンみたいな形になっていくと、面白い使いわれ方をするのではないかなと。その第1号が今回の緑化フェア、富士見会場に行くまでの、まず中間地点のところで楽しんでいただくということもそうですし、様々なイベントに活用できるのではないかなと思っております。

それと、市役所のこれは一部としての広場ということになっていきますので、そういう意味では、アトリウムと一緒に一体型で使っていただくとか、あるいは日常はそういうことでもありますけれども、いざとなった場合には、これは多目的な防災空間という形になりますので、そういった使い方をこれからも、訓練も含めてやっていければなと思っております。

【読売（幹事社）】 ありがとうございます。幹事社からは以上です。

【NHK（幹事社）】 あとは各社さん、質問があるところは。

【朝日】 よろしいですか。すいません、朝日新聞でございます。

防災関係の機能で何か、例えば横浜市とかは公園にマンホールトイレをよく設置するんですけども、何かあれば教えていただきたいのと、あと、そもそも議会棟や上下水道局が入っていた第2庁舎を取り壊して広場にしたというのは、これは、この新庁舎の高層化に伴う容積率の確保のために、ここを広場にしたんでしょうか。広場にした理由を、事務方でもいいので教えていただければと思います。

【市長】 まず、防災関係ということでありまして、広場自体に災害対策機能はございませんけれども、電源設備ですとか、あるいは水栓をつけておりまして、災害時に使用できるという形をしております。

それから、先ほど申し上げたとおり、本庁舎に災害対策本部が置かれるということになりますので、この多目的防災スペースというのも受援体制を受け入れるための広場ですとか、多目的に使われるということになると思います。

経緯については、市長になりたてのときだったからあれでしたけど、最初、記憶しているのは、案として立体駐車場を作るみたいな話があって、それは本当に使い方としてよくないだろうという議論をした覚えがありますけど、その後どういうふうに議論をしていたかは、事務方からお願いします。

【総務企画局】 担当課長です。よろしく申し上げます。第2庁舎の跡地に広場にするというのは、まず、朝日新聞さんのおっしゃった容積率のためではないです。本庁舎は本庁舎で、敷地内で成り立っております。広場に関しましては、今、市長がおっしゃったように、駐車場ですとか、あるいは建物を建てるという案もあったんですけども、学識経験者や市民団体を加えた建て替え委員会の中で、広場に作る案も含めて検討した結果、特に地元の方なんかからも要望が強かった広場にすると、災害時は多目的な防災スペースにするという案が支持されたものでございます。

以上です。

【朝日】 ありがとうございます。

【東京】 東京新聞です。秋開催の前とか、市長はよく緑のネクタイをつけられていた印象があり、ピンクのネクタイもお持ちなのは、先月議会で拝見したので存じ上げているんですけど、今日グレーのネクタイなのは何か理由はあるのでしょうか。

【市長】 すいません、全く特に準備しておりませんでした。

【東京】 じゃいいです。それで、2庁の広場の件なんですけれども、ウッドデッキのところには何かチェーンみたいのがあると思う、今チェーンが敷かれていると思うんですけど、あれは何か意味があるのでしょうか。ホームレスに寝かせないための配慮みたいなのところなのか。

【市長】 ちょっと事務方から。

【総務企画局】 庁舎管理課です。ウッドデッキの周りにチェーンで囲っているのは、夜遅い時間に寝られてしまったり、住むことはないでしょうけど、というのを防ぐために、夜、今9時以降に閉めることとしたいと思っております。

以上です。

【東京】 ありがとうございます。あと、広場に本庁と2庁にゆかりのある部材を再利用した舗装というのがあって、テラゾーのベンチなんかは、思い入れなんかも感じるんですけど。2庁にまつわる部材としてはどういうものが使われているのでしょうか。

【総務企画局】 まず、多分皆さんの記憶に結構あるのが、茶色っぽい、この資料の2枚目で言うと、中段に写真が5枚あると思うんですけど、右から2番目の舗装のタグを説明している写真、こちらのほうは、市役所通りに面して花壇があったと思うんですけど、サツキが植わっていた。あの花壇の石をスライスして貼りつけたものになっています。これは、第2庁舎も本庁舎も両方この花壇がありましたので、それを採用しているというのと、写真中、例えば黒っぽく見えているのが何本かラインがあると思うんですけど、第2庁舎の外壁に使っていた御影石ですとか、あるいは第2庁舎を支えていた地盤の砂利ですとか、基礎の石ですとか、そういったものを再利用しております。

以上です。

【東京】 ありがとうございます。あと、うちの支局からもよく2庁広場が見えるので、上司から聞いてこいと言われているんですけど、ウッドデッキのところはステージのように見えるんですが、そこで何かステージのようなことを計画されているわけではないという理解でよろしいのでしょうか。

【総務企画局】 ステージのように平らな部分を確かに作っております、そういったこともできるように用意しております。ただ、そこで何か今予定しているかということ、これからのことになります。

【東京】 ありがとうございます。あと、植樹の参加者で募集予定人数21名ということですよ。これは例えば7区で3人ずつとか、そういう枠があって、自分が住んでいる区のシンボルツリーを植えるみたいな形になるのか、それとも例えば川崎区の子だけ、多摩区の木を植える可能性があるみたいなことなのか、どういう感じなんのでしょうか。

【総務企画局】 各3人ずつ、各区の木を植樹してもらおうということで、合計21名募集したいと思っています。

【東京】 ありがとうございます。

【毎日】 ありがとうございます。毎日です。同じく広場についてなのですが、一つは、ごめんなさい、不勉強で申し訳ないんですけど、この7区の木というのは、各区のシンボルツリーという理解でいいんですか。

【市長】 一応、各区の木ということを決めているものがありますので。

【毎日】 なるほど。それを使うと。これは、あまり先の話をしてもしようがないのかもしれないですけど、いずれ実をつけたときにどうするかとかそういう、割と実をつける木が多いような気がするんですけど。梨とか桃とか、柿とか、サクランボがつくのか知りませんが、そういう構想はないですね。もしあったらおっしゃってくださいということ、もう一つが、22日のイベントですが、これは特段、地元ゆかりの有名人の方とか、そういう方をお呼び

するようなプランはあるのでしょうか。

以上です。

【市長】 後段については、特に有名人というのは考えておりません。

【毎日】 基本的に市の方と、この市民の方でやるという感じですか。

【市長】 はい、市民の方です。1つ目のことについては、まだそこまで考えていないという状況ですけど、せっかくですから、もしそういうことがあれば、みんなで計画していければ楽しくなるんじゃないかと思います。

【毎日】 ありがとうございます。

【朝日】 どうも朝日新聞でございます。これは、ステージとかで、政治的集会を開きたいという申請があった場合はどう対応されるのでしょうか。

【市長】 政治的な、一応これは市役所の一部という形なので、所管のところに申請手続きをしていただくということになるので、基本的に政治活動というのは想定していないということだという理解です。

【朝日】 歌を歌ったり、そういった文化的活動だったら認可するみたいなイメージなんですか。

【市長】 当面は、市の事業と密接に関係するイベントなどの利用をまず想定しているということでありましてけれども、今後どういうふうに活用していくかというのは、やり始めて、また考えていくということになると思います。

【朝日】 ありがとうございます。

【司会】 御質問のほうよろしいでしょうか。

よろしければ、引き続きまして、市政一般に関する質疑をお受けいたします。進行につきましては、改めて幹事社様、よろしく願いいたします。

#### 【市政一般】

##### 《岩手県大船渡市への緊急消防援助隊の派遣等について》

【読売（幹事社）】 読売新聞です。1点、今日発表があったことについてお尋ねしたいんですけども、大船渡市に消防の派遣をされるという発表があったんですけども、基本的には、総務省からの要請というところだと思うんですけども、何か大船渡市と川崎とのまづつながりがあるかというのと、どういったふうに川崎市として役に立てることがあるのかと市長が思っいらっしゃって派遣をされるのかというのと、市内での山林火災ですとか、そういったところで注意を呼びかけているですとか、何か注意を市として行われていること、啓発活動などあれば教えていただければと思います。

【市長】 まず、今日の午後1時からということで、11隊42名の職員を派遣しているということでありまして。これは、おっしゃっていただいたように総務省からの支援要請に基づきということで、徐々に対象の自治体というか支援自治体というのが増えていっているということですので、しっかり神奈川県隊として任務の果たせるように頑張ってきてもらいたいと思っております。

この週末も、昨日県内の秦野で山林火災がありましたけれども、これについても消防ヘリが川崎、飛んでいまして、情報収集活動などに取り組んでいるところです。県内だと横浜と川崎が消防ヘリを持っているということなんですけれども、今それぞれの自治体1機ずつメンテナンスに入っているということもあって、県内2機体制のところなんです。昨日は横浜のほうが行っているということなので、県内1台運用ということになっているときに、秦野での出動というのがある状況ですので、本当にフルの状態です今動いているという形です。

今後もしっかりと、県内のみならず市外、県外のお役に立てるところにしっかりと貢献していかなければならないと思っていますし、今日は幸いにして、しばらくぶりの雨なので湿度が上がっているのですが、この地域では幸いなんですけど、この時期ずっと乾燥状態が続いていましたので、とにかく市民の皆さんに、予防課も含めてしっかりと広報しておりますが、引き続き市民の皆さんには、火の取扱いについて十分な御注意をいただきたいということ呼びかけていきたいと思っています。

【読売（幹事社）】 ありがとうございます。

#### 《高校無償化について》

【NHK（幹事社）】 NHKです。少し国会の状況に関して御意見があったら教えていただければと思うんですが、かねてから市長は、ナショナルミニマムというところをお話しになっていらっしゃったと思います。永田町のほうでは、高校の無償化というところで議論がまとまりそうな気配になっていることに関して、もしお感じになることがあったら教えてください。

【市長】 そうですね。特に東京の周辺にある自治体からすると、同等な形になっていくというのは、これは歓迎すべきことだと思います。西のほうだと大阪府に隣接しているところも皆さん非常に敏感になっているというところもあって、こういったところでの競争が起こるということは極めてよろしくないということとと思っていますので、こういった標準化をされるということは素直に歓迎したいと思っています。

しかし、本当にその在り方が本当にいいのかということについての十分な議論がなされているのかというと、果たしてどうかということについては、個人的には疑問を持っていますが、この辺りを注視していきたいと思っています。

【NHK（幹事社）】 ありがとうございます。各社さん、どうぞ。

#### 《教員不足の状況等について》

【朝日】 教員の不足に関して、今年の4月1日時点での充足率というか、何人ぐらい不足されているのかというのが、もしこの今の時点で分かっていたら教えていただけないでしょうか。

【市長】 教育委員会いますかね。事務方からでよろしいでしょうか。

#### 《年収の壁の見直しについて》

【朝日】 じゃ、あとすいません、国会の話なんですけれども、年収の壁で、自民党と公明党さんが、160万円、所得制限850万円ですけれども、現時点で、もし川

崎市の減税分の計算が終わってれば、教えていただけたらうれしいんですけども。

【市長】 現在のところでは、約5.3億円の減収と見込んでおります。なお、個人住民税については、令和8年度以降の適用であって、令和7年度には予算に影響はないと伺っております。

【朝日】 5.3億円についてはどうでしょうか。吸収できそうな感じでしょうか。

【市長】 「吸収できる」ですか。いや、単純にただ減るだけということです。

#### 《高校無償化について》

【朝日】 分かりました。あとすいません、先ほどの高校無償化なんですけれども、首都圏は私立の学校が多いので、無償化すると、私立のほうの人气が高まって、公立学校の志願者が減って、生徒が減少するんじゃないかという危惧する声もあるんですけれども、市立学校を抱えているお立場で、その辺り何か御感想はございますでしょうか。

【市長】 私は、それは一般論で考えるとそういうことになるのではないかという危惧はしております。そもそもやはり子供の数が減っている中で、倍率も低くなってきているという中で、私学への大幅な助成という形になりますと、本当に設備なんかを見ましても、公私間格差というのは結構あると思うので、これはそういうことになってしまうのかということに危惧はしておりますけれども。

【朝日】 ありがとうございます。

#### 《教員不足の状況等について》

【市長】 それでは、教育委員会事務局から。

【教育委員会事務局】 教育委員会事務局教職員人事課でございます。今年2月1日時点での未充足数は205.5人ということでございますけれども、4月の見込みにつきましては、児童生徒数の増減に伴う学級数の変動ですとか、あるいは臨時的任用教員の確保状況など、様々な不確定要素がございますので、今はっきりとした数字は申し上げられないんですけれども、今、未充足の縮減に向けて取り組んでいるところでございます。年度当初に学級担任が不在となることのないよう、個々の学校の状況に応じて人材の確保に努めてまいりたいと思っております。

【朝日】 二百、今、何ておっしゃいましたか。

【市長】 もう一回お願いします。数のところだけ。

【教育委員会事務局】 2月1日時点で205.5人となっております。

【朝日】 2月1日現在で205.5人ですか。

【教育委員会事務局】 はい。

【朝日】 秋の段階よりも拡大していて、4月1日時点についてはまだ分からないということでもよろしいですか。

【教育委員会事務局】 はい、まだ今、数字が、すいません。

【朝日】 もし分かりましたら、追ってまた教えていただけますか。

【教育委員会事務局】 承知いたしました。

【東京】 東京新聞です。今、お話のあった205.5人というのは過去最大規模ということでしょうか。

【教育委員会事務局】 教職員人事課でございます。そのとおりでございます。

【東京】 ありがとうございます。

【朝日】 追加で、朝日新聞です。年度途中はどんどんどんどん人繰りの問題が出てくるんですけど、常識で考えると、4月1日で少し持ち直すという見方をされていてよろしいんですか。

【教育委員会事務局】 教職員人事課でございます。一般的に言うと、おっしゃるとおりなんですけれども、今まさに臨任の確保とか最後の追い込みをしているところですので、具体的な数字は差し控えさせていただきたいと思います。

【朝日】 分かりました。ありがとうございます。

【東京】 ごめんなさい。今追い込みされている最中で申し訳ないんですが、去年の4月時点での未充足も結構大きい規模感だったと思うんですけど、それを上回る形になりそうなのか、それよりはちょっと抑えられそうかみたいな、もし見通しが分かれば教えてください。

【教育委員会事務局】 教職員人事課でございます。現時点では今、数を出せる状況ではございません。

【東京】 ありがとうございます。

【司会】 ほかに御質問のほうよろしいでしょうか。

よろしければ、それでは、以上をもちまして、定例記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

---

・この記録は、明らかな言い直しや言い間違い、質問項目など整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当